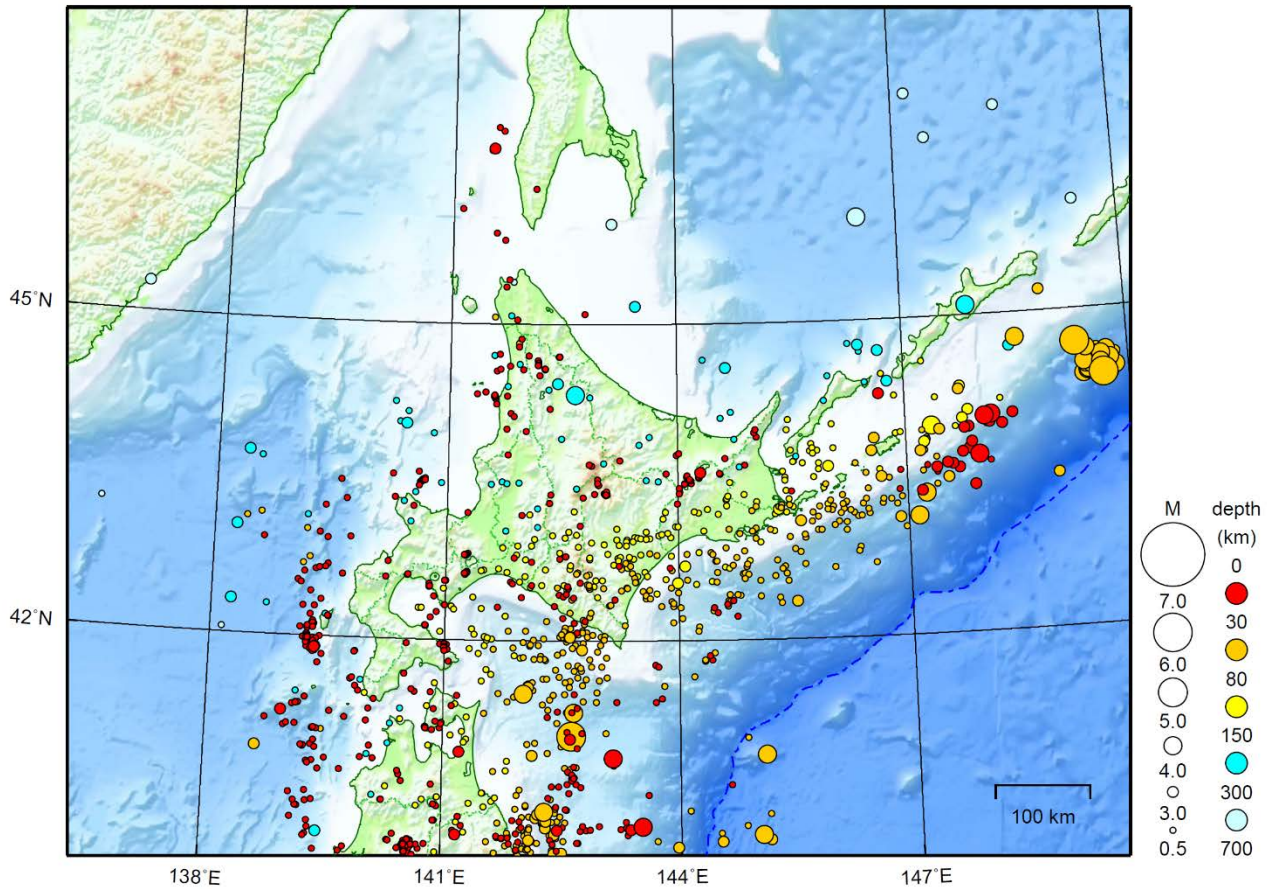


北海道地方

2018/08/01 00:00 ~ 2018/08/31 24:00

N=1208



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った地震活動はなかった。

(上記期間外)

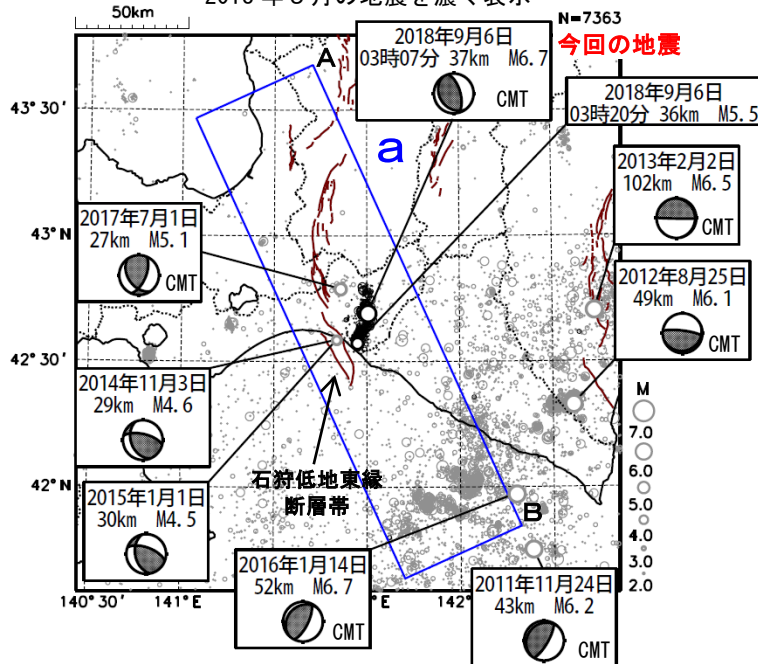
9月6日に胆振地方中東部で M6.7 の地震（最大震度 7）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

平成 30 年北海道胆振東部地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2018 年 9 月 9 日 24 時、
深さ 0～120km、M $\geq$ 2.0)
2018 年 9 月の地震を濃く表示



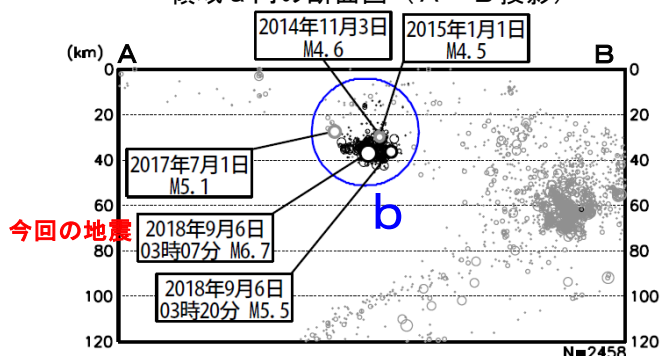
※今回の地震 (M6.7) を除き、9 月 5 日以降の震源は精査前。
9 月 6 日の規模の小さな地震は漏れている場合がある。

2018年9月6日03時07分に胆振地方中東部の深さ37kmでM6.7の地震(最大震度7)が発生した。この地震は、発震機構が東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生した。この地震により死者39人、安否確認中1人、建物全壊32棟等の被害が報告されている(9月10日08時45分現在、総務省消防庁による)。今回の地震の震源周辺には、石狩低地東縁断層帯が存在している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0程度以上の地震が時々発生している。2017年7月1日には、今回の地震の震央から北西に約15km離れた場所でM5.1の地震(最大震度5弱)が発生した。

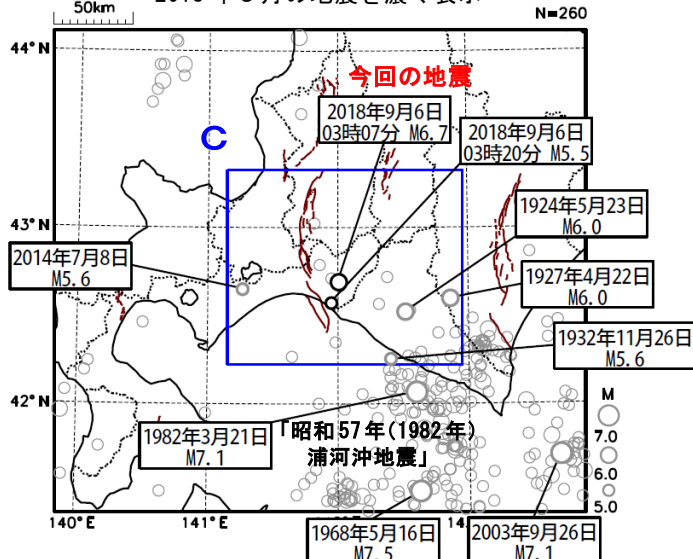
1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、これまでM5.0以上の地震が時々発生していたが、M6.0を超える地震は今回が初めてであった。また、今回の地震の震央から南東に約80km離れた場所では、「昭和57年(1982年)浦河沖地震」が発生し、負傷者167人などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

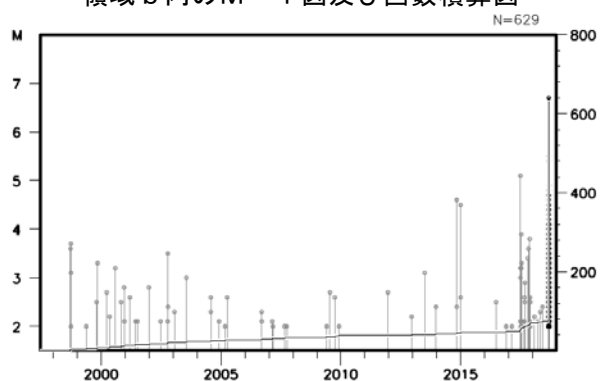


震央分布図

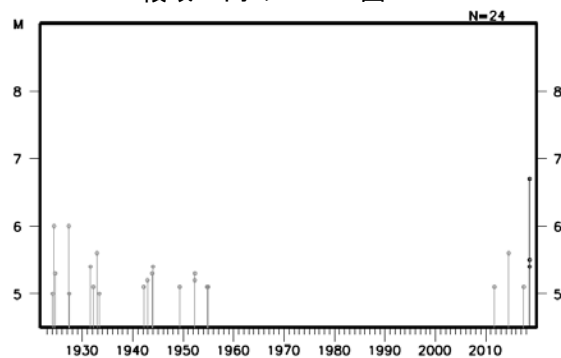
(1923 年 1 月 1 日～2018 年 9 月 9 日 24 時、
深さ 0～60km、M $\geq$ 5.0)
2018 年 9 月の地震を濃く表示



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図



震央分布図中の茶線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。